

つばめ通信

4月号



令和6年4月18日

朝雲分けて 燕帰りぬ プラントスの里に 幾千里 日本生まれの子を励まして われらスラバヤの子 燕に学ぶ 努力の証

令和6年度のスラバヤ日本人学校の教育活動がスタートしました。一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

令和6年度 担任及び教科担任紹介

校長 福田栄喜 (美術) 教頭 栗原陽子 (理科) 教務 甲斐俊久 (体育)

小学部 1年担任	石本 麻衣	中学部 1・2年担任	曾根 恵 (社会・家庭科)
2年担任	今田 浩 (技術)	中学部 3年担任	青木 瞬佑 (英語)
3年担任	田矢 真理 (音楽)		
4年担任	前川 嵩晴 (数学)		
5年担任	甲斐 俊久 (体育)		
6年担任	金丸 恵美 (国語)		() は中学部指導教科
幼稚部教諭 (副園長)	關 重美		

ご入学、ご進級おめでとうございます。

笑顔いっぱい、元気いっぱい、そして夢と希望を胸に入学した新入生の皆さんを迎え、スラバヤ日本人学校は、全校児童生徒34名で新たな一年がスタートしました。

本校の学校経営目標は、「豊かな人間性と国際感覚を身につけ、自分の夢に全力で取り組むスラバヤっ子の育成」です。スラバヤ日本人学校の歴史と伝統に培われた教育実践を継承するとともに、適宜見直し、改善しながら教育活動を進めていきます。夢をもち、夢に向かって行動し、夢をあきらめないスラバヤ日本人学校の児童生徒の育成を目指します。子どもたちの笑顔を大切に、学ぶ力・豊かな心・健やかな体の育成、そして国際理解教育の推進を目指していきたくと考えます。

子どもたちには、自立と共生が重要だと考えます。自分の考えや思いを表現し、友達を大切に、共に向上してほしいと思います。そして、「気持ちのよいあいさつや言葉遣い」「自分を大切に、自分と同じように友達も大切にする」ことを大事にし、教育活動を進めていきたいと考えます。

社会生活を送る上では、心の通い合いが大きな比重を占めます。子どもの発達によって、親切にする、困っている人に寄り添う、互いに協力し合う、と表す形は違ってきますが、相手の気持ちを考えて行動できる子どもに育てていきたいと考えています。

私たちは、スラバヤ日本人学校の子どもの健やかな成長に向けて、“全教職員が全校児童生徒の担任である”という姿勢で教育活動を行っていきます。保護者の皆様には、本校教育活動へのご理解とご支援をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

文責 福田栄喜

学年担当と教科担当

(1) 学年担当

校長：福田 教頭：栗原 教務主任：甲斐 小学部部長：石本 中学部部長：青木

学年	小1年	小2年	小3年	小4年	小5年	小6年	中1年	中2年	中3年
担任	石本	今田	田矢	前川	甲斐	金丸	曾根	曾根	青木

(2) 教科担当 (令和6年4月18日時点)

<小学部>

	国語	書写	生活	社会	算数	理科	音楽	図工	体育	家庭	外国語	総合	道徳	学活
1	石本	石本	石本	石本	石本	田矢	石本	甲斐	石本	甲斐	青木	田矢	石本	石本
2	今田	今田												
3	田矢	田矢	田矢	田矢	田矢	田矢	福田	甲斐	福田	甲斐	青木	田矢	前川	前川
4	前川	前川												
5	甲斐	甲斐	曾根	福田	甲斐	田矢	福田	甲斐	甲斐	青木	金丸	金丸	金丸	
6	金丸	金丸												曾根

<中学部>

	国語	社会	数学	理科	英語	音楽	美術	保健体育	技術・家庭	総合	道徳	学活
1	金丸	曾根	前川	栗原	青木	田矢	福田	甲斐	今田 曾根	曾根	曾根	曾根
2	金丸	曾根	前川	栗原	青木							
3	金丸	曾根	前川	栗原	青木							

- ・水泳（体育科）は、年に10回実施します。
- ・教科以外に、年に35時間、全学年で英会話を実施します。
- ・教科以外に、年に21時間、全学年でインドネシア語会話を実施します。

<インドネシア語会話担当>

石本 甲斐、栗原、福田

<英会話担当>

石本、田矢、青木、福田